

2026年6月11日(木)

老球の細道926

### 3年目のリベンジ

会津バスケットボール協会 室井 富仁

熊の出没が日本中で騒がれている。しかも山里近くではなく、市街地のそこら中で闊歩し、人様に襲撃を加えた。福島では、かつてのバスケットの名門校「野田中学校」近辺に出没して、4人に危害を加え、警察、猟師の包囲網をかわして逃げている。

私の住んでいる地区でも最近、近所でクマ目撃情報が寄せられ、孫たちの小学校は集団下校を強いられた。そのために、近所の田んぼ給水構で行う孫息子との魚、ドジョウ取りが両親からストップをかけられた。私はリハビリや孫との絆にもなるので毎日楽しみにしていたのだが、山本リンダを真似て「クマっっちゃうな🎵」と爺ギャグを言って、しばらく我慢していた。今週になってクマみたいな人はまだいるが、本物のクマの目撃情報はなくなったようなので、我が家のドジョウ、魚獲りは解禁となった。

小学4年生になった孫息子は先日のミニバスケットの大会予選リーグで初めてシュートを決めたせいか、爺鼻頂目で見ると表情、行動に自信がみなぎってきたような気がする。毎朝の「学校に行きたくない」モーションも影を潜め、今やルンルン全開である。学校から帰って来ると宿題を早めに終わり、16時半から「魚獲り」に近所の田んぼに出かける。途中で畑仕事をしているばあちゃん達に声をかけてもらいながら意気揚々と私と孫の「秘密の側溝」に向かう。

人生には時としてミラクルが起こる。魚獲りとして例外ではない。前から行っている「秘密の側溝」には1年に1度しか姿を見せない50cm大のお化けナマズがいた。2年前の夏に初めて3匹のお化けナマズを発見した。その時は孫と共にびっくりするだけで捕獲には至らなかった。昨年も偶然に同じ時期、同じ場所で3匹を見つけた。今度は喜び勇んで捕獲しようとしたが、バスケットと同じで勝ちを急ぎ、孫が一度網にゲットしたが、あまりの大きさにびっくりして逃げられてしまった。

昨日(10日)、まだ例年出没する時期ではないのに、同じ場所に1匹のお化けナマズを発見した。それまで歩くのにフラフラ状態だった私にスイッチが入った。今度は逃がせない。そして孫息子に成功体験をさせなければいけないと集中した。孫と私でナマズの頭と尻尾から網をセットして、孫が頭から網ですくいあげ給水構から救い上げた。地面に上げてから何度も網から出て逃げ回ったが、孫は怖れもしないで両手でつかみバケツに入れた。

バケツにやっと入ったナマズを逃げないように上から網をかぶせて二人で家まで運んだ。1km近くの距離を運びながら、孫と共に2年前、そして去年の失敗談を語りながら、3年目にして果たしたリベンジに二人で達成感を分かち合った。孫は近所の馴染みのおばちゃんに戦果を見せ、仕事から帰って来た親にも見せて、夜近くの小川に逃がしてやった。

クマに思わず、ナマズに遭った幸運。一時は万事。週末のミニバス地区大会決勝Tでナマズの成功体験がバスケットの成功にも影響するに違いないと爺はほくそ笑む。ナンチャッテ!